

2022年後期 第1回再チャレンジプログラム

令和4年11月28日

2019年度秋～冬学期期末試験問題（民事訴訟法応用2）

問題1 設問(1)

第1 独立当事者参加の手続き

1 権利主張参加

2 「訴訟の目的の全部若しくは一部が自己の権利であることを主張する第三者」

第2 検討

設問(2)

第1 条文

第2 訴訟脱退の意義

第3 本問での処理

設問(3)

第1 40条準用の意義

第2 本件和解内容の検討

問題2

設問1

第1 既判力の時的限界

既判力の根拠：

第2 結論

設問 2

第 1 問題点

第 2 判例（最判平成 10 年 4 月 30 日）

第 3 本問における処理

1 判例との異同

2 判例の射程及び解釈

設問 3

第 1 問題点

第 2 本問における作用

1 Y が主張する弁済の事実はいつの出来事か？

2 結論

2019 年秋～冬学期期末試験（民法応用 2）

設問 1

第 1 C の請求の根拠条文

第 2 報酬請求権に関する各要件該当性

1 1 号ないし 2 号該当性

2 C の仕事の結果の可分性

3 B が受ける利益

第 3 B の抗弁

1 契約不適合に基づく損害賠償請求権

(1) 根拠条文

(2) 債務不履行

(3) 損害

(4) 因果関係

※ 415条2項の類推適用？

2 相殺適状の検討

設問2

第1 問題となる条文、論点

第2 利得と損失

第3 因果関係

第4 法律上の原因

以 上